
厚木看護専門学校

2022 年度

自己点検・自己評価 報告書

2023 年 3月

社会福祉法人神奈川県総合リハビリテーション事業団
厚木看護専門学校

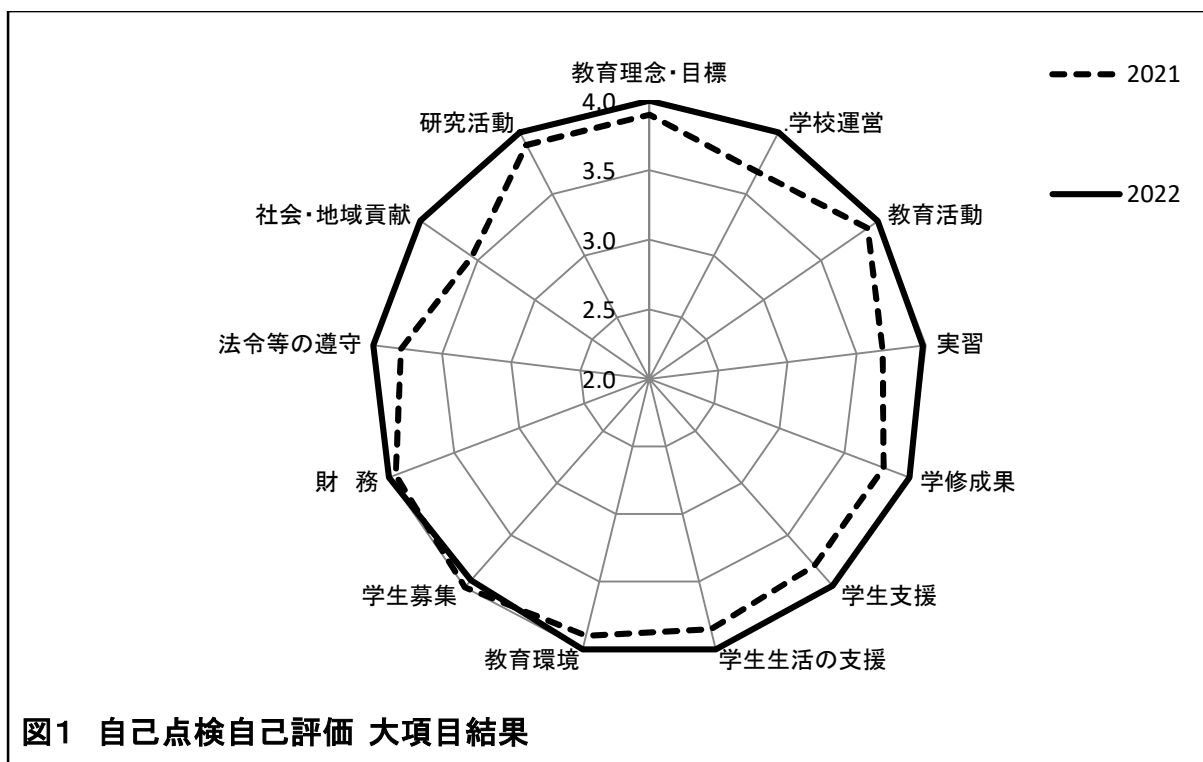
1. 2022 年度自己点検・自己評価について

1) 2021 年度評価に対する 2022 年度の取り組み総括

- (1) 今年度は、職業実践専門課程の充実に向けた自己点検自己評価を文部科学省・厚生労働省より出された指針より評価のエビデンスとなるデータやマニュアル等の根拠資料を提示し実施した。その結果は以下の通りである。

2) 2022 年度自己点検・自己評価の実施・結果

- (1) 実施日 : 2023 年 1 月 10 日～1 月 18 日
 (2) 対象者 : 教職員 26 名 回収率 100%
 (3) 評価項目 : 大項目は下記レーダーチャートに示す。
 (4) 評価基準 : 適切…4 ほぼ適切…3 やや不適切…2 不切適…1 の 4 段階とした。
 (5) 結果 : 前年度の全体平均 3.8 に対して今年度 3.9 と上昇した。
 (6) 課題 : 今年度の自己点検自己評価の結果より以下の 3 点が課題として明らかになった。
- ① 3-2 実習「⑤臨地実習指導者と教員の協同体制を整えているか」3.9 であり、その理由に実習指導者とは情報共有等も行えているが、それらが記録に残されていないとの課題があり、次年度はそのシステム化し、指導者との協働の可視化に取り組む。
 - ② 5-1 学生支援⑧「卒業生への支援体制」は 3.9 であり、卒業生への就職斡旋などが記録に残されていないことが課題である。教職員が閲覧できる共有システム内に記録保存ができるようにし、その周知と活用に努める。
 - ③ 7 学生の受け入れ募集②「学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか」は 3.8 であり昨年度 4.0 より 0.2 ポイント下がっている。当校の教育における成果が広報活動資料に反映されていないことが課題である。今後看護師を目指す方に当校の教育成果が伝わるような広報資料の作成に着手し、速やかに HP、学校広報活動に活用できるよう取り組む。



大項目		評価項目	2021	2022
1. 教育理念・目標	①	学校の理念目的育成人材像	4.0	4.0
	②	学校における職業教育の特色	4.0	4.0
	③	学校の将来構想	3.7	4.0
	④	学生保護者等に周知	3.8	4.0
	⑤	業界のニーズに向けられているか	4.0	4.0
2. 学校運営	①	運営方針の策定	3.8	4.0
	②	事業計画	3.8	4.0
	③	運営組織や意思決定機能	3.6	4.0
	④	規程の整備	3.6	4.0
	⑤	意思決定システムの整備	3.6	4.0
	⑥	コンプライアンス体制の整備	3.6	4.0
	⑦	情報公開	3.8	4.0
	⑧	業務の効率化	3.5	4.0
	⑨	安全対策の整備	3.5	4.0
	⑩	学校安全保健、消防計画の作成	4.0	4.0
3 - 1. 教育活動	①	教育課程編成実施方針	3.8	4.0
	②	教育到達レベル確保	3.9	4.0
	③	体系的な編成	4.0	4.0
	④	工夫・開発	3.9	4.0
	⑤	カリキュラム作成見直	3.9	4.0
	⑥	体系的位置づけ	4.0	4.0
	⑦	授業評価実施評価	4.0	4.0
	⑧	外部関係者評価	4.0	4.0
	⑨	成績評価・単位認定	4.0	4.0
	⑩	指導体制、カリキュラム体系	3.9	4.0
	⑪	人材育成に向けた授業	4.0	4.0
	⑫	優れた教員の確保	3.8	4.0
	⑬	資質向上の取組	3.6	4.0
	⑭	能力開発のための研修	3.9	4.0
3 - 2. 実習	①	実習施設の教育理念・目標の理解	3.8	4.0
	②	学生支援の体制整備	3.5	4.0
	③	臨地実習指導者の役割	3.7	4.0
	④	教員の役割	3.8	4.0
	⑤	実習指導者と教員の協働体制	3.6	3.9
	⑥	対象者の権利を尊重するための思考	3.8	4.0
	⑦	学生への計画的な指導	3.7	4.0
	⑧	学生が関係する事故の把握、分析	3.7	4.0
	⑨	安全教育、対策の実施	3.6	4.0

大項目		評価項目	2021	2022
4. 学修成果	①	就職率の向上	3.9	4.0
	②	資格取得率の向上	3.7	4.0
	③	退学率の低減	4.0	4.0
	④	卒業生在校生の社会的な活躍及び評価	3.7	4.0
	⑤	教育活動の改善	3.7	4.0
5 - 1. 学生支援	①	進路・就職の支援体制	3.9	4.0
	②	学生相談	4.0	4.0
	③	経済的な支援体制	3.8	4.0
	④	健康管理を担う組織体制	3.7	4.0
	⑤	課外活動の支援体制	3.8	4.0
	⑥	学生の生活環境への支援	3.7	4.0
	⑦	保護者と適切な連携	3.9	4.0
	⑧	卒業生への支援体制	3.8	3.9
	⑨	教育環境の整備	3.6	4.0
	⑩	高校等との連携	3.7	4.0
5 - 2. 学生生活の支援	①	入学後に学修を継続できる支援	3.9	4.0
	②	支援体制は、学修の継続を助けている	3.8	4.0
6. 教育環境	①	施設・設備は教育上の必要性に十分対応できる	3.9	4.0
	②	実習施設などの十分な教育体制	3.8	4.0
	③	防災に対する体制の整備	3.9	4.0
	④	防災対応マニュアル	3.9	4.0
	⑤	学生への防災対策の周知	3.9	4.0
7. 学生の受入れ募集	①	学生募集活動	4.0	4.0
	②	教育成果の正確な伝達	4.0	3.8
	③	学納金	4.0	4.0
8. 財務	①	中長期的な財務基盤の安定	3.4	4.0
	②	有効かつ妥当な予算・収支計画	3.8	4.0
	③	財務の会計監査	4.0	4.0
	④	財務情報公開の体制整備	4.0	4.0
9. 法令等の遵守	①	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営	4.0	4.0
	②	個人情報の保護のための対策	3.8	4.0
	③	自己評価の実施と問題点の改善	3.8	4.0
	④	自己評価結果の公開	3.9	4.0
10. 社会貢献・地域貢献	①	社会貢献・地域貢献の実施	3.7	4.0
	②	学生のボランティア活動	3.5	4.0
	③	地域に対する積極的な受託	3.6	4.0
11. 研究活動への支援	①	教員の研究活動への支援	4.0	4.0
	②	教員の研究活動を助言検討する	4.0	4.0
	③	研究活動を支援し合う文化的素地	3.8	4.0